



非営利法人メディカルコンソーシアムネットワークグループ
特別講演会

アキよしかわ氏 講演会

『日米がん格差』



10/21 土

開演 13:30 / 開場 13:00

三井生命株式会社大手町野村ビル17階大ホール
東京都千代田区大手町2-1-1

参加申し込み受付中

ご参加お申込方法

1. WEB申し込み <http://medicalconsortium.jp/workshop/171021/>
2. 本チラシの裏面に必要事項を記載し、FAXをご送信ください

全席
自由

参加費：1,000円

※本講演会における参加費の一部を、元ちゃんハウス運営基金へ
当法人を通じて寄付させていただきます。
元ちゃんハウスとは故 西村元一先生（前 金沢赤十字病院副院長）
が開設されマギーズセンターの理念を元に運営されている施設です

講師紹介

アキよしかわ 氏

グローバルヘルスコンサルティング会長。

がんサバイバーの国際医療経済学者、データサイエンティスト。

10代で単身渡米し、医療経済学を学んだ後、カリフォルニア大学パークレー校とス

タンフォード大学で教鞭を執り、スタンフォード大学で医療政策部を設立する。

米国議会技術評価局（U.S. Office of Technology Assessment）などの

アドバイザーを務め、欧米、アジア地域で数多くの病院の経営分析をした後、

日本の医療界に「ベンチマーク分析」を広めたことで知られる。

著書に『Health Economics of Japan』（共著、東京大学出版会）、

『日本人が知らない日本医療の真実』（幻冬舎メディアコンサルティング）、

『日米がん格差：「医療の質」と「コスト」の経済学』などがある。

講演概要

米スタンフォード大医療政策学部を設立し、

世界中の「医療の質」を分析してきた気鋭の研究者「アキよしかわ」が「大腸がん」になった。

アキは、病院が保有する医療情報をベンチマーク分析することで、「医療の質」を

向上させる病院経営手法を国内で確立したパイオニア。

これまで、国内外で多くの提言をしてきたが、自身が「患者」になってみると、これまで「データ」だけでは

わからなかった「医療の質」も見えてきた。

日本人と米国人の「がん」に対する考え方の違い、患者が得られる情報量、治療のガイドライン、

周囲のサポート体制などなど。

さらに、日米の医療データにはあらわれない要素が「患者の心」に大きな影響を与えていることが、

自身の体験でわかったのだ。アメリカ最先端の医療経済学に「日本人のがん患者」という視点が加わった

著者が、あらためて日本の医療の何が素晴らしいのか、何が足りないのかを、自身の闘病体験とともに

赤裸々に語る。また、今回の体験から今後のがん医療にとって必要不可欠との確信を得たがんサバイバーを

支援する仕組み「キャンサーナビゲーション」についても紹介する。

会場アクセス



JR 東京駅 東京メトロ地下構内 B2 出口直結

低層階エレベーターにて 17 階まで直接お上がりください

※1F 三井生命店頭入り口からご入場できません

NPO 法人 メディカルコンソーシアムネットワークグループ 宛

FAX:03-6734-0649

アキよしかわ氏講演会 『日米がん格差』 参加申込書

申込メ切

所属団体名	(※正式名称でご記入ください)		
住所	(〒 -)		
TEL	() -	FAX	() -
代表者メールアドレス			
参加者氏名	(所属部署/役職:)		
参加者氏名	(所属部署/役職:)		
参加者氏名	(所属部署/役職:)		

※ご記入いただきました個人情報については、本講演会申し込み手続き以外の目的には使用いたしません。

- 参加費は当日会場にて医療機関ごとにまとめてお支払いください。
- 定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

お問い合わせ

NPO 法人
メディカルコンソーシアムネットワークグループ

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 2-42-8-825 【理事長/山田 隆司】

山田ケータイ

090-3205-4767